



FILE

06

新たな成長の柱とすべく 新規事業に挑戦

1 | 2019年に開業した永平寺 親禅の宿 柏樹閣。宿坊さながらの坐禅や精進料理など、禅の世界を本格的に体験できる 2 | グランピング施設の藤乃煌 富士御殿場 3 | ジャカルタ東部の工業団地エリアに開業したサービス・アパートメントのISORAS CIKARANG

グランピングなどコト体験重視の 新形態の宿泊施設を展開

2015（平成27）年当時、競争の激化やそれに伴うコストの上昇が予想されるなか、当社が生き残って成長を続けていくには、当社ならではの強みを生かしながら多様化する顧客ニーズに対応し、収益性を向上させる必要があった。そうした認識のもと、既存事業の高付加価値化という成長戦略を進めながら、将来の柱となり得る新しい事業への挑戦にも積極的に取り組んだ。



2018年にオープン、富士山を望む藤乃煌 富士御殿場



1 | 中央にアウトドアテラスがあるキャンピンのほか、ウッドデッキには全天候型の食事場所が付いたドームテントをご用意。写真は、ドームテントから見た富士山 2 | 藤乃煌 富士御殿場のグランピングディナー。キャンプ気分を味わえるライトなバーベキューコース



3・4 | 永平寺 親禅の宿 柏樹閣で提供する禅体験の様子と大本山永平寺監修の精進料理。「コト体験」を重視した試みであった

その一つが、宿泊事業の新展開としてのグランピング施設の運営だ（グランピング：豪華で快適なキャンプ体験）。モノではなく体験型のコト消費のニーズに応じ、その土地ならではの魅力を生かした新しい旅行スタイルを、グランピングに見出した。

そして2018（平成30）年、静岡県御殿場市に「藤乃煌 富士御殿場」を開業。20棟（開業当時）ある独立型キャンピンの全てから雄大な富士山を正面に眺められる施設で、ホテルのような客室に加え、アウトドアデッキには焚き火ができるファイヤープレイスやハンモック、ジェットバスなどがあり、アウトドアの楽しさと快適空間が調和する。夕食は、備え付けのオーブングリルでお客さま自身が調理できる。

また、デンマークのアウトドアブランド「ノルディスク」と業務提携し、世界遺産登録で注目されていた

長崎県五島列島に「Nordisk Village Goto Islands（ノルディスクヴィレッジゴトウアイランズ）」を開いた。こちらもベッドなどの家具や家電が設置された快適な空間での滞在と、“そこでしかできない体験”をコンセプトにした豊かな自然や食を楽しむことができる宿泊施設としてアピールした。

さらに2019（令和元）年には新しいタイプの宿泊施設として「永平寺 親禅の宿 柏樹閣（はくじゅかん）」を開業。旅館のような快適な設備・サービスと、坐禅

などを通じて大本山永平寺の本格的な禅の世界を体験できる、旅館と宿坊の中間に位置するような施設で、永平寺門前に和の趣あふれる18室の宿としてオープン。永平寺が監修する精進料理も魅力の一つだ。

レストラン事業・海外事業においても新しいスタイルのサービスを模索

レストラン事業の新展開としては、マレーシアやインドネシアなど東南アジアからの穆斯林のお客さまの増加に伴い、ハラール食に対応した和食レストラン「和食 折紙 浅草」を2018（平成30）年に開業した。店内には浮世絵が飾られ日本らしさを演出するとともに、食材はもちろんのこと調味料に至るまでアルコールを一切使わず、イスラム教徒の方に安心して利用いただけるサービスを提供。店内にはウドゥ（手・足洗い場）を備えた礼拝堂も設けた。

海外関連では、宿泊事業の領域拡大として、海外サービス・アパートメントの新ブランド「ISORAS（イソラス）」を立ち上げた。日本からの出張者や海外駐在員の方に、慣れない環境下でも日本と変わらない暮らしを提供したいという想いから、海外展開を決めた。2019（令和元）年、インドネシア・ジャカルタ近郊の工業団地エリアにサービス・アパートメント「ISORAS CIKARANG（イソラスチカラン）」（開業当時214室）を開業した。露天風呂付大浴場やフィットネスマシーンを導入したジム、テラス席を備えたクラブラウンジなど、安心してくつろげる居住空間を提供する。

コロナ禍によりターゲットだった訪日外国人客の消失の影響を受け、「和食 折紙 浅草」は閉鎖を強いられ、「Nordisk Village Goto Islands」も2023（令和5）年末で営業終了せざるを得なくなった。

新規事業創出のための社内公募制度 全社員対象の「BizNex」始動

既存事業の強化に加え、成長戦略として新しい領域に挑戦すべく、社内でのアイデア発掘から事業化までを継続的・効果的に実現するため“新規事業創出を仕



ISORAS CIKARANGの居住スペース。日本からの駐在員などが、慣れない環境のなかでも安心して快適に過ごすことのできる施設を目指した

組み化する制度”を構築。2024（令和6）年に事業化アイデア公募制度「BizNex（ビズネク）」をスタートさせた。

「BizNex」は「Business（ビジネス）」と「Next（ネクスト）」を組み合わせた造語で、次世代のビジネスや未来志向を表現したもの。当社グループの全社員を対象に、事業化アイデアを募集。個人はもとより、部署を超えたチームでの応募も奨励した。

提案から事業化まで、起案者が推進者として主体的に挑戦できる風土の醸成を目指し、選抜・検証を繰り返しながら実現性の高い事業を創出し、事業領域の拡大を図っていく。

TOPIC | 10

BizNexのロゴにデザインされるヒトと葉っぱの意味

BizNexのロゴは、当社が人材の成長を大切にし、支援する姿勢を象徴したもの。ロゴに描かれた「人」は社員の成長を、「葉」はアイデアが事業へと成長する過程を表し、発芽した葉は新たなビジネスの芽生えと未来への希望を示している。

